

なみ

2月号
vol. 108

巻頭特集

にしなりの小遺産

こいせん

「ええお天気ですなあ〜。」
西成区北津守4丁目周辺にて撮影

にしなりの小遺産 こいさん

にしなりのまちの遺産を発掘していきます。
歴史や地域が育てたのは建築物や遺跡などだけではありません。人も大切な遺産なのです。わたしたちはそれを小遺産（こいさん）と呼び、まちの小遺産を発掘しつづけます。

こいさんプロジェクト…若松司／西田吉志／佐々木敏明



こいさん ⑦ 金春子さん

大阪府堺市で生まれ育った在日二世の春子さん。現在は民団（正式名称…在日大韓民国民団）西成支部に所属。新年会や花見、定期大会など年中行事に参加・活動している。「日本で生まれ、日本が大好きだが、日本人にはなれない」。いわゆるディアスポラ（確固とした所属性のない存在）の状況に由来する春子さんの複雑な思いをうかがうことができた。

在日2世という ポジション

春子さんの父親が仕事を求めて日本にやってきたのは戦前のことだった。父の兄弟たちは本国に居たので、つねに帰国する用意はしていたようだが、そのうちに両親も日本に来ることになった。やがて、姉を頼って日本に来ていた母親と出会って結婚し、春子さんが生まれた。二人を引き合わせたのは父の祖父だったそうである。戦前の在日一世の世代は、誰かを頼って日本にやってくることが多かったのだろう。

両親たちが来日した当初は言葉も通じないから、一生懸命仕事をして生活を維持してきた。その懸命に生活している姿が地域の人間との関わりや信頼関係を築いていくが、それでも摩擦は起こる。春子さんも子どもの頃、道を歩いていると何度も強い口調で「帰れ!」と言われたことがあ

る。その当時は「帰れ」と言われても、「どこに? なぜ?」と思っただものの親にたずねはしなかった。しかし、成人していろいろなことを見聞きするうちに、その意味を知った。



金春子さんの結婚式（1977年）

総連から民団へ

朝鮮戦争後、半島が南北に分断された頃から、「北朝鮮」という言葉をよく耳にするようになった。春子さんが10代のころだ。当時、その言葉には憧れに似たニュアンスがあったそう。そんな

と春子さんは述懐する。

思いを抱きながら、春子さんは北朝鮮に帰っていく身近な友人を見送った（1959年の北朝鮮帰還日朝赤十字協定調印）。しかし「必ず手紙を送るね」と約束して帰国した友人たちからの手紙はなかなか届かなかった。2年、3年と経つうちにようやく届いた手紙は、北朝鮮という国を賛美する常套句からはじまり、やがて「何かを送ってほしい」という内容にすり替わっていった。手紙の検閲も行われていたのだから、必需品が欠乏している生活状況が文面からありと想像できた。

と春子さんは述懐する。

当時は総連（正式名称…在日本朝鮮人総聯合会）に勤めていた春子さん。北に帰り社会貢献をしたい、それこそが本国への勤めだと思ふ半面、日本での役割をまっとうしようと考えてもいた。「自分はこの事業に関わっていないのか」と葛藤しながらも、結局は帰国しなかった。その後、北朝鮮が製作したプロパガンダ映像が、実態とかけ離れていたことがわかってきた。そこで民団で仕事をしようになり、新たに在日の人たちの暮らしを応援し、促進力になろうとした。「今でも、北に帰国した人たちを考えると胸が痛む」という金さんの言葉は、歴史を超えて私たちにも迫ってくる。

組織に所属することの意味

春子さんは、20歳になると区役所から手紙が届き、区民センター



西成区民センターで行われた郷土大学（1988年）



三女が松宮小学校に入学（1994年）

で開催される成人式に出席でき
ると思ひ込んでいた。しかし、春
子さんが成人式に招待されるこ
とはなかった。民団も独自の成
人式を行っていたそうだが、その
頃の春子さんは民団の所属では
なかったで成人式に呼ばれな
かったのである。そのため、一生
に一度の成人式に参加できなかつ
た。春子さんはそのことを今で
も後悔している。

助などの制度があったが、そこに
所属していなかった春子さんに
は、情報が多わってこなかった。
情報を得ることができていれば、
留学などもっとやりたいことが
出来たかもしれないと語る。「関
わりがないから、情報を知らない
から、わからない」というのは良く
ないと思う。民団に勤めながら
言うのもなんだが、今はホーム
ページからの情報で若干補足し
ているかもしれないが、しっかり
した広報ができていたのか疑問
だ」。定期的な訪問や、悩んでい

「いやな部分もあるけど日本は
好き。でも日本人にはなれない」
と言う春子さん。オリンピック
などのスポーツの国際試合では、
韓国を応援する。でも韓国を嫌
う気持ちもどこかにある。日本
人はなんだかんだ言っても外国
の方を受け入れようとするが、本
国の韓国人は受け入れないの
ではないか、と感じるそうである。
「日本だと私はこうして生活をし
ていけるが、韓国だと生活が難し
い気がする。韓国には何度も旅
行に行ったが、道徳的にマナーの
悪い人が多く、他から来る人を受
け入れない空気がすごくあるよ
うに思う。こんなこともあった。
韓国の街の中を歩いていると通
りすがりに『チョッパリ（豚足の

国のためより地域を 大切にしたい

意味」と呼ばれた。その時は本
当に腹が立った。『在日』とい
言葉はあまり使いたくないが、本
国の人にとって『在日』の人は視
界に入っていない隠れた存在な
のかと感じさせられるし、本国の
人が私たちをどのように考えて
いるのか今もわからない。そし
て「民団という組織に所属するの
は、そういうモヤモヤした気持ち
を埋めるためなのかもしれない」
と教えてくれた。

働くことが地域への貢献にな
る、国のためより自分が暮らす
地元（地域）を大切にするという
春子さん。家電や食品を量販店
では買わず、できる限り地元の
商店で購入している。地元の活
性化はもちろんのこと、人と人
のつながりを大切にしたいから
である。子どもたちには自分の
価値観を大切にしながら、多く
の人たちと関わりをもって学び、
強く生きてほしいと、春子さん
は語ってくれた。

文責：西田吉志



日韓の姉妹交流会（1989年）



鶴見橋中学校で行われた民族交流会（1990年代）

きんこん がこん

こどもたちを育むには、学校と家庭に加え地域の役割がとても大切です。ただ、学校がどんなことをしているのか知っている人は意外と少ないのでは？ということで、これから学校の様々な出来事や取り組みをお知らせしていきます！

8 時間目：今宮工科高校



蒸気機関車を交流センターで走らせました

初めて今宮工科高校に足を踏み入れました

そろそろ、ネタ切れかと囁かれています。今回は今宮工科高校です。立地的には前回に訪問した西成高校よりもとても近い場所であるにも関わらず、これまで校舎にすら入ったことがありませんでした。今回、インタビューをさせていただいた辻尾教頭から、たくさんの方を教えていただき、驚きの連続でした。

体験してから「系」を選べる
丁寧なカリキュラム

筆者は、本校のような工科高校では、機械科や電気科に分かれて3年間ずっと同じことを学ばとばかり思いこんでいました。本校の工業科では1年生の前期で全ての学科系の体験学習を行います。その上で、後期には2年生で希望する系の専門基礎を履修します。2年生では本人の希望を優先しつつ、適性・成績を総合的に判断して「機械系」「電気系」「建築系」「グラフィックデザイン系」に進むこととなります。高校受験時ではなく、入学後の体験学習に基

づいて自分の学びたいことを選択・決定できるのは、生徒たちの意向に沿ったとても親かな仕組みだと感じました。こうした工夫のため、中退や留年は本当に少ないそうです。また、昨年度から創設された工学系・大学進学専科は、工学系大学への進学に特化した学習を行っています。

31種類の資格取得と企業との信頼関係で高い就職率を実現

本校では在学中に様々な資格を取得することができ、電気系の生徒のほとんどは、住宅内の電気工事ができる第2種電気工事士の資格を取得しています。また、小型建設機械の運転講習会が校庭の一角で実施されるなど、資格が取りやすい環境が整っているため、昨年度は31種類の資格が取得されています。こうした学習環境は、大企業（従業員1000人以上）もしくは資本金10億



小型建設機械の実技講習会の様子

は資本金10億

知ってましたか？ 地域内外の連携の実践

去年の12月、毎日新聞に今宮工科高校の記事が掲載されました。「学んだ技術 社会の役に」と題された記事では、授業の一環として診療所の椅子を修理したり、中古の椅子を整備してアジアの途上国に寄付する活動を紹介していました。これらの取り組みは、5年前津波で



上：工科高校らしい機能美を備えた校舎
下：西成警察と連携したしゃべる看板写真

自転車を流された被災者に、校内の放置自転車を修理して送ろうと始めたのがきっかけです。その他にも、防犯の取り組みで西成警察と連携して「しゃべる看板」をつくりたり、また保育所でのブラスバンド部の演奏や市民交流センターのイベントでの蒸気機関車の運行なども行われています。今回の取材をきっかけに、どんな連携を深めていきたいと思いました。

レポート：寺嶋公典



保育所への訪問演奏

【寺嶋公典】8月5日からのオリンピックに向けて、新聞や雑誌には毎日のように「リオ」の文字が掲載されています。「はよ終わってほしいわ」と、うちの三女の里桜（リオ）が呟いてました。





(左上) 花田講師、貴祿のある佇まい (右上) 職歴60年余を支えてきた道具たち (左下) 教室風景 (自主制作に励む) (右下) 学生の卒業制作

2016年度生 (4月～) 入学の塾生募集中

手縫いの靴づくりを身に付けたい方は、塾生になりませんか？日本にも残されている靴づくりの高度な技術を学び、「西成」を地域ブランドとして広く社会に発信できる日を共に作りましょう。

【内容】革靴の手縫い製法の基礎技術 (型紙・製甲・底付け) の習得

なお、本校では西成の靴職人による伝統的な製靴技術を教授しております。最新の製靴技術を学びたい方には他校への入学をお薦めしています。

【受講期間】入学年4月～翌年3月 (土日・祝日は休み、盆休み・正月休みあり)

【開講時間】午前10時～午後3時 (正午から1時間は休憩時間)

【受講内容の概要】本校のカリキュラムでは、1年をつうじて型紙制作・製甲・底付けの工程を並行して教授します。カリキュラムにしたがって講義・実習を進めていきますが、生徒一人ひとりの習熟度に合わせて対応することを心がけています。

※より詳しい情報はホームページ (<http://www.nishinari-seika.com/>) をご参照ください。

西成製靴塾 (担当: 若松)

住 所: 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-10-2F

電 話: 06-6561-9990 (西成企業連内)

メール: wakamatsu@n-net.gr.jp



www.facebook.com/nishinariseika/



[nishinari_seika](https://www.instagram.com/nishinari_seika)

「なび」をつくる(株)ナイスは、地域での取り組みも、社会に向けた取り組みもいろいろ。多様につながる実践を紹介していきます。

VOL.23

西成製靴塾



職歴60年、西成の靴職人 花田和夫講師

手縫い靴の学校『西成製靴塾』がパークコート (スマイル ゆ〜とあい) 2階に拠点を移して、2016年から再出発です。本号では靴のまち西成の歴史と製靴塾の特徴を少し紹介します。

皮革のまち・靴のまち、西成

西成は皮革産業のまち、特に婦人靴の生産高は日本最大の規模を誇っています。靴メーカー関連企業は200社超、職人は約1000名と言われており、地域人口の約3割が靴関連の仕事に携わっています。製甲ミシンやハンマーの音が今日も鳴り響いています。

近世大坂、皮革の流通拠点として大いに栄えていた渡辺村 (現浪速区) の南に位置する広大な田畑が、現在の西成区でした。近代になって多くの人が職を求めて大阪にやってくる、その広大な田畑が市街地化し、皮革産業に従事する多くの人々が新生活を送るまちとして西成は発展してきました。大阪の近代化の過程で皮革産業が西成の地場産業となっていたのです。

手縫い靴の製法を後世に

現在の製靴業は、甲革師 (足の甲を覆うアッパー部分を制作する職人) と底付師 (甲

革を靴底に縫い付ける職人) に分かれているのが一般的です。しかし、機械化・分業化が進んだ結果、海外との競争で優位に立てず、国内の製靴業界全体が衰退していきま

そんな中であって、甲革と底付の全工程を一人でこなす靴づくりを志す若い世代も出てきました。西成製靴塾では、職歴60年余、頑なに全工程を一人で行う製法で革靴を作り続けてきた職人が直接、その技術や立ち振る舞いをこれからの靴職人に伝えています。

まちづくり立の靴学校

西成製靴塾は、地域のまちづくり運動から生まれてきた靴学校です。地元と行政で策定した『西成地区総合計画』(1996) では、地場産業の皮革産業に着目し、西成に残った伝統的な製法を身につけた人材を育成する教育事業の立ち上げが謳われました。以来、試行錯誤を経て1999年6月に長橋小学校の生涯学習ルーム事業として開校し、地域の協力を得ながら現在に至るまで、多くの靴職人を輩出しています。



【谷口円】最近自分の中で万年筆が密かなブームです。といっても安価でカジュアルなものですが、同じ文字を書くのでも不思議な満足感がありますね。これを機に字もうまくなりたところです。



【田岡秀朋】ビッグ・アイでナイスの新年会。ビッグ・アイでは障害者差別解消法の施行前に合理的配慮のあるサービスってなんだ?と当事者やスタッフ、専門家と一緒に考えています。白黒は好きではなく、こんなやり取りはおもしろい!!



【沖田一志】ゆ〜とあいのWi-Fi設置作業が完了しました。1階「喫茶なび」だけでなく2階の隅々まで、ゆ〜とあい全館に電波が届きます。Wi-Fi希望の方は受付で利用方法を尋ねてください。



【飯島照喜】昨年を振り返ることなく、新年を迎えました。甲午年の今年はもっと早く日々が過ぎ「去」っていくのでしょうか。時に抗いながらもじっくり、ゆっくりと過ごしていきたいと考えています。新年あけましておめでとうございます。

今月の花：サクラソウ

花言葉「初恋」「純潔」
「少年時代の希望」

サクラソウの花の名前の由来は、花の形が桜の花に似ているためサクラソウと呼ばれるようになったそうです。



何年前によく来てくれていたお兄さんが久しぶりに花を買ってくれました。その人は、この辺で薬の売人をしていたらしく、その現場では花を植えていたそうです。身体の大きな怖そうな人でしたが、車椅子にのって、右半身不随になって、やさしい顔のお兄さんになっていました。昔の事を反省して、もう一度花を育てたいと言って梅の花を買ってくれました。まじめになってね！心配してたから、会いに来てくれて、うれしかった。（なんばひとみ）



『希望』

お正月、初詣に行きました。

「今年もよろしくお願いします」と、神さまにいいました。

「今年も散歩をよろしくね」と、お父さんにいいました。

「今年もごはんよろしくね」と、お母さんにいいました。

「今年もいっぱい遊んでね」と、お姉ちゃんたちにいいました。

「今年も元気でがんばれよ」って、自分にもいいました。

1年365日。

どんな経験できるかな？

いろんなつぶやきしてみたい。

たのしみワンワン！！

赤井まゆみ



hidarimaki



映画がメディアの王であった時代、俳優がタレントでなく俳優であった時代、原節子さんは私たちには女神でした。今も逝去が信じられません。

風景

ひと弾みつけて跳びたつ初すめ

漂流

オリオンよ天をも欺くわが祖国

節子嗚呼1

神無月ミューズはついに永遠となる

節子嗚呼2

天女のままするいんですと年が逝く

い湯かげん

新年の抱負は「逆境からこそ対案」

遅ればせたが、(株)ナイスの新年の抱負を書いてみた。

年頭から新しいマンション「パークコート」が竣工し、民設置民営のしなり隣保館(ゆくとあい)と国際幼児教育校スターブレインズ、地域立社会福祉法人によるサービス付高齢者住宅が入居された。この事業は、橋下改革による市民交流センター(解放会館等名称を変更しながら続いてきた隣保事業施設)廃止への代替案だが、「居場所と出番」「共生の地域」「格差のない福祉」という、都市再生と「事業型社会運動」部活解放運動の総合的展開という意味の「対案が込められている。リスクの高い事業になるが、地域の多様な法人の連携で果敢な挑戦をしたい。

春は公共事業の入札の季節だが、今年府立公園の指定管理者選考の年に当

たる。10年程前に、非営利と営利の共同事業体で社会的企業を創設するという

対案で競争に参画し、4つの公園で管理者に抜擢されてきた。現有を確保し、機会があるのなら拡大も試みてみたい。また、前号で報告した地方独立行政法人運営になった大阪市民病院で、設備と清掃の一括型総合評価入札が試みられるが、市場と福祉(障害者雇用)の併走という「橋下難問」に一定の答えを出す時でもある。

夏には参院選挙があるが、ひよつとすると衆院解散もある。ボクも晴れて？支持政党なし」となつて初めての国政選挙になる。社会運動や社会的企業が、かつての護送船団や政党従属に陥るほど政治に埋没する必要はないと思うが、憲法改正が争点になるとなれば傍観するわ

けにはいかない。ちょうど昨年の都構想住民投票や大阪W選挙を、あの大阪大空襲の後の大阪に重ね合わせてみると、焼野の大阪から「政治参加をやり直す」そんな夏になりそう。橋下さんの「分権改憲」には、「大阪市の総合区」など「改憲なしの分権」という対案で動いてみた。

秋には障害者団体「共同連」の全国大会が大阪で開催される。ホストの一員として役割を果たしたい。生活困窮者自立支援法もスタートしたが、肝となる「中間的就労」はまだ海面に現れてはいない。ビルメン産業等「雇用産業」を入札改革など社会的企業で振興する、つまり「ともに働く労働市場の創出」という対案を、大阪大会で共有できるよう動いてみる。共同連大会にとどまらず、就労支援への社会的合意を広げること、(株)ナイスのような社会的企業の役割を見つけていきたい。

冬には(株)ナイスの機構改革と人事刷新をやりとげたい。「西成発ソーシャル・エンタープライズ」と大見得を切つて、1997年に設立した(株)ナイスもまもなく20周年を迎えることになる。薬局の複数店舗化や入札改革による公



(株)ナイス代表取締役
富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「い湯かげん」のテーマ探しに出かけます。



〔若松司〕幸先のよいことに、今年は早速、コトを一つ始めることができました。さて、大みそかまでいくつのモノやコトが始められるのでしょうか。わねながら楽しみです。



〔西田吉志〕「ゆ〜とあい」がオープンして1ヵ月。まだ不慣れでお客様の対応に毎日ドタバタです。でも机に座ってパソコンをしている時より、お客様との会話や、やりとりを楽しんでいる自分を発見した。

西成カレンダー

「ホッとひといき」編

喫茶なび
ドリンク1杯無料券
※モーニングとの併用はできません。
有効期限：2016年3月10日まで

つどい・であい・つながる

コミュニティカフェ 喫茶なび

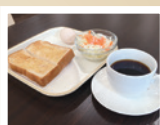
暖かい日差しが差し込む居心地満点のカフェです。立ち寄った際にはぜひご利用ください。

営業時間：午前7時30分～午後4時 ※日・祝休み
ところ：スマイル ゆ～とあい 館内1F

MENÜ

- ◆モーニング 300円
ドリンク・トースト or 玉子サンド・ゆで卵・サラダ
- ◆軽食 350円
エビピラフ・カレーピラフ
+ 50円でドリンク付き
- ◆スイーツ (木曜日限定) 100円
パウンドケーキ・ガトーショコラ
- ◆ドリンク 100円

コーヒー	Hot	or	Ice
紅茶	Hot	or	Ice
緑茶	Hot	or	Ice
オレンジジュース			
アップルジュース			



ゆ～とあいの会員になると1日1杯ドリンクが無料になります。
スマイルゆ～とあい会費 入会金500/円
+月会員：2,000円/月 1日会員：200円/日
こども会員：無料 (15歳まで)



にしなり隣保館 スマイル ゆ～とあい <http://www.s-you-i.jp>

所在地：〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番9号
パークコート 1F・2F
TEL：06-6561-8801 FAX：06-6562-1159
休館日：年末年始(12月29日～1月3日)のみ

開館時間：午前9時30分～午後9時30分
アクセス：JR大阪環状線今宮駅から徒歩10分
地下鉄四ツ橋線花園町駅から徒歩15分
Facebook：www.facebook.com/syoutoi/

あとがき

私ことですが、昨年末に西成の鶴見橋商店街の近所に引っ越し、朝の時間をゆっくり過ごせるようになったので、最近「にしなり隣保館 スマイルゆ～とあい」にある『喫茶なび』でモーニングを食べて仕事に行きます。300円と手ごろなのでおすすめです。

まるで宣伝になりましたが、今年も『なび』『スマイル ゆ～とあい』共々何卒、よろしくお願いします。

(安田)

なび2月号(vol.108)

発行日：2016年2月1日(創刊日：2007年1月1日)

発行：株式会社ナイス

発行人：代表取締役 富田一幸

印刷：有限会社前山企広

住所：大阪市西成区長橋3-6-33 電話：06-6563-1156

E-mail：info@nice.ne.jp

url：http://www.nice.ne.jp/

編集長：寺嶋公典

編集：飯島照喜、沖田一志、佐々木敏明、岡田秀朋、西田吉志、

安田拓也、若松司(あいうえお順)

イラスト：hidarimaki デザイン：谷口円